

案件名：下痢症研究及びコントロールセンター設立計画



国立コレラ及び腸管感染症研究所の外観

1979年に竣工した延床面積約4,200㎡、5階建ての鉄筋コンクリートの建物である。ラボ・管理棟と研修棟の2棟で構成されている。



微生物学ラボ：電気泳動ゲル撮影装置
両側に冷蔵庫とパソコンが設置されており狭隘な室内であることがわかる。



微生物学ラボ：クリーンベンチ
適切な設置スペースがないため、研究者の作業環境や動線が犠牲となっている。



微生物学ラボ：PCR装置



微生物学ラボ：パルスフィールド電気泳動装置